日本炎症免疫薬学会 会則

2024年8月15日作成

第1章 総則

第1条 名称

本会は日本炎症免疫薬学会と称し、英文では Japanese Society for Pharmaceutical Inflammation and Immunology と表記する。その略称を JPPII とする。

第2条 事務局

- 1, 本会の事務局は日本の千葉県鴨川市東町 1344 に置く。
- 2, この学会は理事会の決議により、従たる事務局を必要な地に置くことができる。

第2章 目的および事業

第3条 本会の目的

この学会は、炎症免疫疾患において薬物治療への意思決定を支援し、患者のエンゲージメントを高めることを目的とする。

炎症免疫疾患は主に膠原病、関節リウマチ、炎症性腸疾患であり、乾癬やアトピー性皮膚炎等の皮膚疾患、呼吸器疾患、神経免疫疾患を含む。

第4条 目的事業

本会の目的を達成するために、次の事業を行う。

- 1, 炎症免疫疾患における薬物療法に関する学術大会、講演会等の開催事業
- 2, 炎症免疫疾患の薬物治療の普及に益するセミナーや講座、研修会などの開催事業
- 3, 炎症免疫疾患に関する調査・研究事業
- 4, 機関誌その他刊行物の発行事業
- 5, 炎症免疫疾患の薬物治療に関する啓発広報活動及び情報提供事業
- 6, 炎症免疫領域に専門性を有する薬剤師の養成、および認定等の事業
- 7, 炎症免疫領域における臨床と学術の連携による研究実施と社会貢献
- 8, 国内外の関係団体との連携に関する事業、及び連携構築等に係る調整事業
- 9, その他、本会の目的を達成するために必要な事業

第3章 会員

第5条 本会の会員は次の通りとする。

- 1, 正会員 : 本会の目的に賛同し、炎症免疫疾患の治療に関する研究・教育・実践に携わっている者で、理事会の承認を得た者をいう。
- 2, 賛助会員 : 本会の目的、事業に賛同する個人、団体、および法人。
- 3, 名誉会員 : 著しい貢献をなしたとして、理事会が承認した個人。名誉会員は、総会に

出席し意見を述べることができる。

- 4, 評議員 : 正会員の中で理事会、評議員会の推薦により理事長が委嘱した者。
本会の目的達成のために活発な活動を行っているもので、正会員数の10%を超えないこととする。任期は2年とする。

第6条 会員資格の取得

- 1, 本会に入会を希望する者は、入会申込書を本会事務局に提出するものとする。
- 2, 本会に入会を認められた者は、所定の年会費を納入しなければならない。
既納の会費は、いかなる理由があってもこれを返還しない。

第7条 退会および会員資格の失効

- 1, 退会を希望する会員は、理事会へ退会届を提出しなければならない。
- 2, 2年間以上会費の滞納し、正当な理由なく支払いの催促に応じないとき。
- 3, 本会の名誉を傷つけ、または本会の目的に反する行為のあった会員は、理事会の議を経て理事長が除名することができる。

第8条 本会設立時の会員名簿は会則の次に記載する。

第4章 役員

第9条 本会に役員を置く

- 1, 理事長 1名
- 2, 副理事長 1～2名
- 3, 理事 10名前後
膠原病3名、関節リウマチ3名、炎症性腸疾患2名、その他の領域2名を目安とし、
理事長が指名した理事若干名を含む
- 4, 監事 1～2名

第10条 理事長は、理事会で理事の中から互選により選出し、総会の承認を受ける。

第11条 副理事長は、理事長が指名する。

第12条 理事および監事は、会員の中から選出し、総会の承認を受ける。

第13条 役員は、次の職務を行う。

- 1, 理事長は、本会を代表して会務を統括する。
- 2, 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故または欠けたときはこれを代行する。
- 3, 理事は、理事会を組織し会務を執行する。
- 4, 監事は、本会の会計および資産を監査する。

第14条 役員任期は2年とし、再選を妨げない。ただし連続して3期を超えることはできない。

第5章 会議

社員総会は、すべての社員をもって構成する。

第15条 本会に次の会議を置く。

- 1, 理事会
- 2, 総会

第16条 理事会は理事長が招集し、その議長となる。

- 1, 理事会は、年1回開催する。
- 2, 理事会は理事の過半数の出席がなければ議事を開き議決することができない
- 3, 理事会は、総会および本会の運営、基本方針、その他の重要事項について協議を行う。
- 4, 理事会は、次の職務を行う。
 - ①本会の業務執行の決定。
 - ②理事の職務の執行の監督。
 - ③理事長、副理事長の選定及び解職。
 - ④規則・規定・細則の制定、改廃に関する事項。
- 5, 理事会は次に掲げる事項その他の重要な業務執行の決定を、理事に委任することができない。
 - ①本会の主要な資産の処分及び譲受
 - ②多額にわたる借財
 - ③本会の重要な組織の設置、変更及び廃止
 - ④重要な使用人の選任及び解任

第17条 総会

- 1, 総会は毎年理事長が招集する
- 2, ただし、評議員もしくは正会員の3分の1以上から請求があったときおよび理事会が必要と認めた時は、理事長は臨時に総会を開催しなければならない。
- 3, 総会は、評議員の3分の1以上の出席がなければ議事を開き議決することができない。ただし、委任状をもって出席とみなすことができる。
- 4, 総会は、この会則に定める事項の他、次の事項を議決する。
 - ①事業計画および収支予算
 - ②事業報告および収支決算
 - ③その他理事会が必要と認めた事項
 - ④総会における議事は、出席正会員の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。
- 5, 議事録を作成し、本会のホームページ上で公開する

第8章 委員会

第18条 委員会

1. 本会の事業を推進するために必要あるときは、理事会はその議決により、委員会を設置することができる。

2. 委員会の委員は、会員及び学識経験者のうちから、理事会が選任する。
3. 委員会の任務、構成並びに運営に関し必要な事項は、理事会の議決により別に定める。

第 9 章 学術集会

第 19 条 学術集会は年 1 回開催する。

第 20 条 学術集会会長は理事会の推薦による。学術集会会長は学術集会を主宰する。

第 10 章 会計

第 21 条 本会の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日に終わる。

第 22 条 本会の事業報告及び会計については、毎事業年度終了後、理事長が作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を得たうえで総会において承認を得るものとする。

第 11 章 会則の変更

第 23 条 本会の会則を変更する場合は、理事会の議を経て総会の承認を必要とする。承認は、総会出席者の 3 分の 2 以上の賛成を必要とする。

第 12 章 個人情報の保護

第 24 条 本会は、取り扱った個人情報の保護、及び適正利用に万全を期するものとする。

附 則

- 1, この会則は、2024年11月1日から施行する。